

プレスリリース【新刊刊行】  
報道／労働組合／労働相談関係者各位

2011年 8月3日発信

## 『メンタルヘルスの労働相談』刊行

メンタルヘルス＝個人的に起こっている問題は会社の、社会的な問題なのだ

環境／社会問題を専門とする出版社・(株)緑風出版(りよくふう・しゅっぱん、代表＝高須次郎)では、7月29日、メンタルヘルス・ケアの労働相談マニュアルの決定版であるとともに、相談当事者・関係者必携の書として『メンタルヘルスの労働相談』を刊行しました。

本書は、1980年代中盤以降の「男女雇用機会均等法」成立、「労働基準法」改正による裁量労働制および成果主義賃金制度の導入といった、職場環境の変化のなかで増え続けた、職場いじめ、パワハラ、セクハラ、うつ、自殺願望といった、いわゆるメンタルヘルス・ケアの領域からのアプローチが必要な問題に対し、問題解決に向けて膝を突き合わせて努力してきた相談をする側／される側双方が寄り合って作ってきた研究会の成果をまとめた、いわば労働相談マニュアルの決定版ともいえる本だ。

労働者の心の健康は医者だけでは保持できない、仲間が必要だという立場から、「逃げ道」が保証されない職場環境のなかで、ひとりSOSを発している相談者に寄り添って相談を受ける側の心構えに始まり、相談の仕方、会社との交渉、労災申請、会社の協力の下での職場復帰プロセス、アフターケアなどを具体的に分かりやすく解説する。また、相談の最前線から生まれた本書は、他の関連本と大きく異なり、厚生労働省の指針や通達を「解説」するのではなく、どのように運用したら「成功させることができる」か、このように実行したら「うまくいった」という事例に即して論じている点、きわめて実践的だ。

組合のみならず企業からも相談がくるという同研究会の、現場に根ざした活動の結晶である。

[書誌データ]

『メンタルヘルスの労働相談』ISBN978-4-8461-1112-0 C0036 四六判上製 244頁 本体価格1800円

[著者]メンタルヘルス・ケア研究会

2004年に東京管理職ユニオンが呼びかけて、各労働組合・ユニオンで相談を受ける側、相談をする側双方の組合員や他の機関で相談活動を担っている者が参加して開催されて以降、70数回開催されている研究会。具体的相談案件や相談の受け方の検討、厚労省の通達等の検討、関連する資料の読み合わせ、講演会の開催などの活動を行ってきた。その成果はパンフレット『はたらく仲間たちへの「心からの」ラブレター』として、これまで22号発行されている。

(株)緑風出版(りよくふう・しゅっぱん)は1982年の創立の専門書出版社(本社・東京都文京区本郷)。エコロジー・環境問題から内外政治・社会問題まで、現代と未来をみすえた書籍を刊行。2003年、優秀な出版活動に対し唯一贈られる第18回梓会出版文化賞を受賞。刊行図書に『ドキュメント日本の公害』、プロブレムQ&Aシリーズ等がある。



本プレスリリースに関するお問い合わせは、(株)緑風出版・営業部まで

TEL 03-3812-9420 E-mail: info@ryokufu.com